

器 69 歯科用蒸和器及び重合器  
一般医療機器 歯科技工用成型器 70750010

デュアルフォーマー

【形状、構造及び原理等】



本体、付属品：模型固定用砂、配管用具一式

・寸法 (mm)：W285×H440×D280

・使用電圧：AC100V

原理：模型にかける空気圧を調節することによりシート材を模型に圧接させ、シート材を成型する。

【使用目的又は効果】

熱可塑性材料を加圧等で成型し、義歯又は補綴物を作製するために用いる。

【使用方法等】

1) シート材の取り付け

(1)シート材固定板を外した状態でマウスガード用、スプリント用等の円形シート材を昇降台の丸い穴にフタをするように注意して置きます。

(シート材がずれた状態で圧接するとエア漏れ原因となります。)

また、他社メーカーの角型シート材を設置することも可能です。

(2)シート材固定板を 2 か所のネジに引っ掛け、時計回りに回して固定して、しっかりとネジ止めします。

※固定板の溝の最深部にネジがあたるようにしっかり回してから固定して下さい。

(3)昇降台をスライドさせて上にあげて、ヒーターの下で固定します。

2) 模型の設置

(1)作業模型は底面を平らにしておきます。圧接に不必要な部分、特に突起部はシート材に穴をあける要因となりますので(加圧時のエア漏れ)出来るだけ削っておいて下さい。

※トリマーディスクが摩耗していると、模型の底面が波打つ事があります。底面を平らにした後、必ずフラットな台に模型を置いて、がたつきが生じていない事を確認して下さい。(加圧時、模型破断の原因になります。)

(2)模型を模型作業台中央に置きます。このとき、模型の前歯部分ができるだけ円形テーブルの中央に来るように設置して下さい。

(3)咬合器に再装着する、等の理由で模型を削ることが出来ない場合は、模型作業台の蓋である

円形テーブルを取り外し、内部に付属の模型固定用砂を注いで、その中に必要な部分だけを露出させるようにします。このとき、砂の水平面が模型作業台の縁と同じ高さになるように注意して下さい。

3) シート材の加熱・圧接

(1)昇降台をヒーターの下で固定した状態でヒータースイッチを入れると加熱が始まります。

(昇降台が下がったままだとスイッチを入れてもヒーターには通電しません)

(2)シート材が軟化したら、昇降台を押し下げ、吸引か加圧いずれかの方法で圧接を行います。

(3)シート材が充分冷めた後、シート材ごと模型を取り出します。

(4)最後に必ずヒータースイッチを切って下さい。

※長時間ヒーターを使用すると、サーモスタットが働き、通電がカットされます。その際は、いったんヒータースイッチを切って暫く放置し、ヒーターが冷めるのを待って再び使用して下さい。

【使用上の注意】

- ・本機の圧縮空気以外での使用を禁止します。
- ・コンプレッサーからの圧縮空気の管理に注意し、定期的な水抜きを必ず行って下さい。
- ・コンプレッサーエアからの湿気や異物による本機の故障は、保証期間内であっても有償修理の対象とさせていただきます。
- ・ヒータースイッチを絶対に入れたままにしないで下さい。
- ・歯科以外の目的でご使用にならないで下さい。

【保守・点検に係る事項】

万一故障が生じた場合は、販売店又は当社までご連絡下さい。

修理調整は全て製造販売業者に依頼して頂き、使用者側では行わないで下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

大榮歯科産業株式会社

電話：06-6441-3332